

講義名	ブライダルコーディネーション論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定アシスタントコーディネーター検定及び、国家検定ブライダルコーディネーター技能士3級取得を目指す。ブライダルの基礎知識を学びます。また、結婚という人生儀礼を通して人間社会を考察することもできます。日本における結婚式・披露宴の成り立ちを知り、ウェディングプランナーの業務に必要な基礎知識を修得します。実際に、ホテル・式場の施設見学や第一線で働く担当者の経験談などから、儀礼の意味づけやブライダルビジネスパーソンの存在意義を考察します。また、模擬人前結婚式プロセスを通して、学んだ知識を活用することができ、仲間と協働する力を高めることができます。なお、施設見学に交通費は自己負担となります。また、施設見学と模擬人前式の実施日は、会場の都合により通常授業と異なる日時になる場合があります。

到達目標

1. ブライダルに関する専門用語を身に付け、活用できる。
2. 日本における結婚式・披露宴の成り立ちを理解し、基礎知識を修得する。
3. 施設見学の中で業務上の交流をとおしてブライダル業界の現状を知り、付加価値や展望について考察できるようになる。
4. 模擬人前結婚式のプロセスを通して、他者と協力して物事を成し遂げる組織運営能力を高めることができる。
5. ブライダル関連の情報を収集し、分析し、課題を発見したり、付加価値を見出すことができるようになる。

提出課題

施設見学及び人前式プランニングに関するレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

実施した小テストに対して、授業内で解説します。レポートは授業内でフィードバックします。

評価の基準

レポート	3 0 %
模擬人前式実技	2 0 %
試験	5 0 %

履修にあたっての注意・助言他

日本ブライダル文化振興協会（BIA）認定アシスタントコーディネーター検定及び、ブライダルコーディネーター技能士3級合格には、ブライダルコーディネーション、及びブライダル事業論を履修し、知識を修得することが必要です。ブライダル情報誌やSNS、あるいは、身近な人の体験からブライダルの情報を収集することを心がけてください。施設見学などの機会には、ホテル・ブライダルビジネスのマナー基準に沿った服装や髪型で参加し、その場に相応しい立ち居振る舞いや言葉遣いを心がけてください。模擬結婚式のプロセスでは、自分の役割を責任をもって果たしてください。

教科書

.ブライダルコーディネーターテキスト スタンドード.	(公社)日本ブライダル文化振興協会人育成委員会	(公社)日本ブライダル文化振興協会	3850		
----------------------------	-------------------------	-------------------	------	--	--

参考図書

.結婚の前に知っておきたい神様のこと.	道前美佐緒	青山社	1760	9784883593279	
---------------------	-------	-----	------	---------------	--

その他

資料を授業内で配布、若しくは、ポータルにアップします。必要に応じて、ブライダル関連サイトを案内します。

授業計画

1. ガイダンス「幸せになるための儀式」
2. 結婚式：神前式・仏前式
3. 結婚式：日本におけるキリスト教式
4. 披露宴：ホテル・総合結婚式場
5. 人前式とオリジナルウェディング
6. 施設見学：式場とバンケット
7. ウェディングプランナーの業務
8. 衣装・装花
9. オリジナルウェディングのテーマとコンセプト
10. 人前式プロセス（配役と台本制作・BGM選定のポイント）
11. 人前式プロセス（後前ごとにアイテムコーディネーター）
12. 人前式プロセス（各担当の業務と專線）
13. 人前式プロセス（リハーサル）
14. 人前式プロセス（実施）
15. 人前式プロセスの振り返りと今後のブライダル業界について

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
ク：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="radio"/>	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次の授業で扱う教科書の範囲をお伝えしますので、教科書を予め読み、質問を考えて来て下さい（予習120分程度）。授業で得た専門用語や知識は、復習で確実に覚えるようにしてください（復習120分程度）。施設見学の際は、該当施設や業界について情報収集し、問いをもって参加し、レポートを提出してください。（予習・復習各120分）模擬人前式では、積極的に情報を収集し、意見を出し、成果に繋がるよう練習をしてください。（予習・復習各120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目は、ブライダル関連企業での就業に必要な知識を学び、国家検定合格へ導くものです。ホテル・式場に従事するビジネスパーソンの交流や模擬人前式プロセスを通して、マネージャークommunication能力、提案力、組織運営力を養うことは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

テキストの内容に基づき情報収集したうえでディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を磨くことができます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。（公社）日本ブライダル文化振興協会任命 ブライダルコーディネーター職種技能検定「指定試験機関技能検定委員」として、国家検定の問題作成審議等に参画し、1、2級の実技試験の審査員を務めています。ホテルバンケットマネージャークonベンション（BIC）の大会等で講演を行ったり、若手コンベンションの審査員を務めるなどブライダル業界の発展に尽くしてきました。また、行政の職業の課題として四日市市主催の婚活支援プロジェクトなどに参画し、セミナーや人材育成研修を行っています。ブライダルプロセス会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成に携った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考